

化石燃料を活用しないトレファクション技術によるゴム古木の燃料用ペレット製造技術の開発

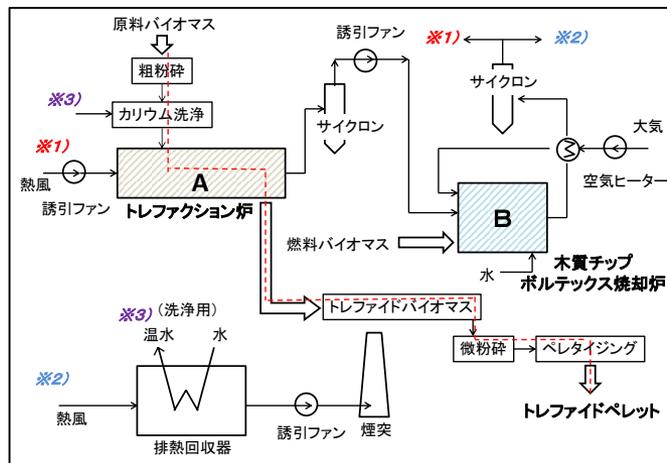
事業実施団体：株式会社JCサービス

リノベーション・実証の概要

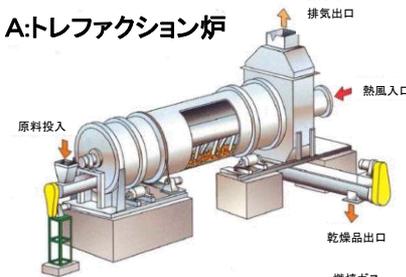
タイ国は、ゴムの木をプランテーション操業により大量に生産しているが、樹液を取りきった木（古木）の活用が期待されている。トレファイドペレットは、既設設備変更の必要がなく、疎水性が高いため、石炭火力へのバイオマス混焼の実現が遅れているタイ国での普及に大いに貢献する可能性が大きい。

本事業では、今後タイ国へのトレファクション技術の移転によるタイ国及び日本国での微粉炭火力での高効率混焼発電の実現を目指し、既存のトレファクションシステムをゴム古木向けにリノベーションし、カリウム除去技術、化石燃料を活用しないシステムの確立等の実証を行う。

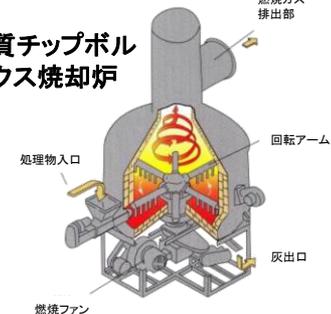
本実証トレファクションフローシート



A:トレファクション炉



B:木質チップボルテックス焼却炉



対象とする国・地域の概要

- ・ゴム古木の端材は南部を中心に年間4,000万トン発生する。
- ・南部（バンコク以南、特にラヨン県、クラビー県）の既設もしくは計画の微粉炭火力発電所は約2,700MWである。
- ・端材は現在、タイ国内と韓国向けにチップまたはペレットとして小規模に利用されている。



地図データ©2017 Google

対象とする国・地域における事業化・普及の見込み

事業化見込み

STEP1:リノベーション検討・開発／実証運転／ビジネスモデル検討・事業性評価

STEP2:市場調査/現地での商業プロジェクト創成/微粉炭火力実機での混焼試験

STEP3:発電所向けトレファイドペレット製造販売事業実現

普及の見込み

- ・タイ国で2030年までに年間250万トンの事業規模
- ・日本国内発電所向け年産5～10万トン規模のトレファイドペレット製造・販売事業展開